

「ワクワクするまち 皆野」を目指して！

皆野町長 黒澤 栄則

町民の皆様にはますますご健勝のこととおよろこび申し上げます。3月24日から第六代の皆野町長として町政運営という重責を担わせていただくことになり、身の引き締まる思いです。就任にあたりひと言挨拶を申し上げます。

対話

まちづくりの主役は、町民の皆様です。皆様との対話なくして、まちづくりは進められません。任期4年間の最初の1年は、特に皆様との対話(懇談会、企業訪問など)に注力し、今後の取組の礎としたいと考えています。そして、対話をおして、町民の皆様がまちづくりをより身近に感じ、他人事ではなく自分事として捉えていただきたいと思っています。

また、町民の代表である議員の皆様とも積極的に対話をしてまいります。行政と議会は車の両輪。町民の皆様のご困りごと、町の課題を的確に把握し、建設的な議論を重ねながら、実効性のある取組を進めてまいります。

チャレンジ

私たちを取り巻く環境は、目まぐるしく変化しています。今日のベストは、明日のベストではないかもしれません。常により良いものを目指してチャレンジし続けることが必要です。前例踏襲ではなく、温故知新。これまでの取組から新たな知見を得て、これからに生かしていく。私は、コツコツと小さなチャレンジを積み重ね、町の大きなワクワクにつなげていきたいと考えています。

そして、チャレンジは行政だけに向けたものではありません。私が掲げるまちづくりの合言葉は「みんなでみな」。まちづくりの主役である町民の皆様は自主的、主体的な取組も大いに期待し、積極的に支援してまいります。みんなでみなのを想い、関わり、より良い皆野町を創っていきましょう。

幸せの向上

すべての取組のゴールは、町民の皆様の幸せの向上です。例えば、観光客何万人達成がゴールではありません。そのうちどれだけの人が

が町内の飲食店などを利用するか(町に潤いをもたらしてもらえるか)をゴールとすべきです。どうすれば1か所ではなく、2か所以上巡ってもらえるか、日帰りではなく宿泊してもらえるか。観光に限らず、産業の振興、福祉・教育の充実など、あらゆる分野において、皆様と対話しながら、知恵を絞って、幸せの向上をゴールとして形づくっていききたいと思っています。そしてその取組は、皆野町という「点」ではなく、秩父地域の市町などとの「線や面」のつながりの中で進めることでより大きな成果が得られるものと考えます。私はそのつながりを創る町の営業マンとして幅広く活動してまいります。

任期の4年間はもちろん、中長期的な視野を持って「対話→チャレンジ→幸せの向上」のサイクルを、改善を重ねながら繰り返すことで、まちづくりの好循環を生み出してまいりたいと思います。

「皆野町を誇れる町として次世代につなごう」とその気持ちを忘れることなく、職員と力を合わせ全力で取り組んでまいります。

町民の皆様のご支援、ご協力をよろしく願っています。